

ABSTRACT ATTACHED

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-336164

(P2002-336164A)

(43) 公開日 平成14年11月26日 (2002. 11. 26)

(51) Int.Cl.⁷

A 4 7 K 17/02

識別記号

F I

A 4 7 K 17/02

データベース (参考)

Z 2 D 0 3 7

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2001-86676 (P2001-86676)

(22) 出願日 平成13年3月26日 (2001. 3. 26)

(31) 優先権主張番号 特願2001-68562 (P2001-68562)

(32) 優先日 平成13年3月12日 (2001. 3. 12)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 501097581

社 ハルエイ

埼玉県さいたま市道場3丁目4番7号

(72) 発明者 社 ハルエイ

埼玉県浦和市道場3丁目4番7号

(74) 代理人 100090055

弁理士 桜井 隆夫

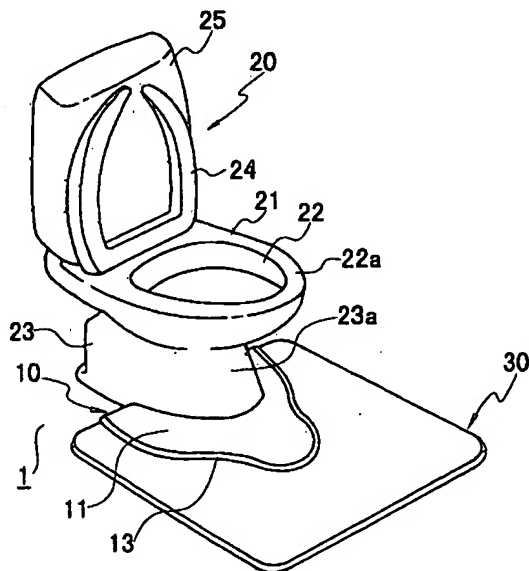
Fターム (参考) 2D037 EB01

(54) 【発明の名称】 洋式トイレ用の補助マット

(57) 【要約】

【課題】 簡単に使用できるとともに洗濯も容易になり、トイレを常に衛生的な状態に保ち、利用者に不快感を与えることがない洋式トイレ用の補助マットを提供する。

【解決手段】 上部の鉢部21の下部に脚部23を有する家庭用の洋式トイレ20が床面1に設置され、この床面1に敷かれたトイレマット30の上部に配置され、全体としてほぼ半円形の帯状に形成された尿を吸収する布地材からなるマット本体11を有し、マット本体11は、脚部23の前側の側面部下部に当接され内側に当接部16が設けられた半円形状の切り込み部12を形成し、外側の周縁部が上面から見たとき鉢部21の開口部22より外側に十分に大きく形成されるとともにその周縁部に縁取り部13が形成される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 上部の鉢部の下部に脚部を有する家庭用の洋式トイレが床面に設置され、この床面に敷かれたトイレマットの上部に配置され、全体としてほぼ半円形の帯状に形成された尿を吸収する布地材からなるマット本体を有し、該マット本体は、前記脚部の前側の側面部下部に当接され内側に当接部が設けられた半円形状の切り込み部を形成し、外側の周縁部が上面から見たとき前記鉢部の開口部より外側に十分に大きく形成されるとともにその周縁部に縁取り部が形成されたことを特徴とする洋式トイレ用の補助マット。

【請求項2】 前記マット本体の周縁部の縁取り部には、使用者の足が接触しないための凹部が形成されていることを特徴とする請求項1記載の洋式トイレ用の補助マット。

【請求項3】 前記マット本体には、前記当接部から縁取り部に向けて放射状に縫い目が施されていることを特徴とする請求項1記載の洋式トイレ用の補助マット。

【請求項4】 前記マット本体の切り込み部の当接部は、毛抜き合せ縫いが施されていることを特徴とする請求項1記載の洋式トイレ用の補助マット。

【請求項5】 前記マット本体は、白色のタオル地で形成されていることを特徴とする請求項1記載の洋式トイレ用の補助マット。

【請求項6】 前記マット本体の裏面には、前記トイレマットに固定するためのマジックテープまたはドット鉤が取付けられていることを特徴とする請求項1記載の洋式トイレ用の補助マット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、洋式トイレに使用するトイレマットの汚れを防止できる洋式トイレ用の補助マットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、家庭に設けられる洋式トイレは、排尿時に、誤って周囲に飛散させたりあるいは周縁部を伝わって垂れ落ちた尿により、トイレ床面が汚れること等を防止するために、トイレマットを敷設している。例えば、特開平8-164094号公報には、便器回りの床面に配されるよう便器の形態に応じた形状に加工された、尿を吸い取る吸水性素材層を有するトイレマットが開示されている。また、例えば、特開平10-28662号公報には、便器本体の上面周囲から外側面を伝わって垂れ落ちる尿による汚染を防ぐために、便器本体の正面側の側面を覆う立て部をトイレマットに一体に設けた便器カバーが開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のトイレマットあるいは便器カバーでは、厚手の布地を使用し形状も比較的に大きく、一回の洗濯で大量の洗剤と

水を必要とするとともに乾燥にも時間がかかる欠点があった。

【0004】本発明は上記事情に鑑みなされたもので、簡単に使用できるとともに洗濯も容易になり、トイレを常に衛生的な状態に保ち、利用者に不快感を与えることがない洋式トイレ用の補助マットを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために請求項1に記載の発明にあつては、上部の鉢部の下部に脚部を有する家庭用の洋式トイレが床面に設置され、この床面に敷かれたトイレマットの上部に配置され、全体としてほぼ半円形の帯状に形成された尿を吸収する布地材からなるマット本体を有し、該マット本体は、前記脚部の前側の側面部下部に当接され内側に当接部が設けられた半円形状の切り込み部を形成し、外側の周縁部が上面から見たとき前記鉢部の開口部より外側に十分に大きく形成されるとともにその周縁部に縁取り部が形成されたことを特徴とするものである。半円形の帯状に形成されたマット本体は、簡単に使用できるとともに洗濯も容易になり、トイレを常に衛生的な状態に保ち、利用者に不快感を与えることがない。

【0006】請求項2に記載の発明にあつては、前記マット本体の周縁部の縁取り部には、使用者の足が接触しないための凹部が形成されていることを特徴とするものである。縁取り部に凹部を形成することで、気にならずに使用できる。

【0007】請求項3に記載の発明にあつては、前記マット本体には、前記当接部から縁取り部に向けて放射状に縫い目が施されていることを特徴とするものである。当接部から縁取り部へ向けて放射状に縫い目を施すことで、洗濯によるよじれ等を防止することができる。

【0008】請求項4に記載の発明にあつては、前記マット本体の切り込み部の当接部は、毛抜き合せ縫いが施されていることを特徴とするものである。毛抜き合せ縫い施して、その部分が他の部分より比較的に厚手に形成することで、側面部下部に上側にやや曲折させた状態で密着させることができ、尿が側面部を伝わって垂れ落ちても当接部で吸収させトイレマットや床面を汚すことがない。

【0009】請求項5に記載の発明にあつては、前記マット本体は、白色のタオル地で形成されていることを特徴とするものである。マット本体を白地のタオル地に形成することで、付着した尿の色により健康管理を行うことができる。

【0010】請求項6に記載の発明にあつては、前記マット本体の裏面には、前記トイレマットに固定するためのマジックテープ（登録商標）またはドット鉤が取付けられていることを特徴とするものである。マット本体がトイレマットに固定されるため動かず安定して使用でき

る。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図示の一実施形態により具体的に説明する。図1及び図2は本発明実施形態の補助マットを説明する図であり、図1は補助マットの使用状態を説明する斜視図、図2は補助マットの平面図である。

【0012】これらの図において、本実施形態の補助マット10は、家庭用の洋式トイレ20が設けられる床面1に敷かれるトイレマット30の上部に配置されるものである。洋式トイレ20は、上部側に開口部22を有する鉢部21の下部側に脚部23を形成した形状でトイレの床面1に設置され、開口部22の上部に便座24と便蓋25とが開閉自在に取り付けられた一般的な構造を備えている。トイレマット30は、洋式トイレ20の前側の床面1に敷かれる比較的厚手のタオル地等からなり、床面1に設置される脚部23の前側の側面部23a下部に当接される半円形状の切り込み部を有するほぼ矩形状に形成されているものである。

【0013】補助マット10は、例えば、尿を吸収するタオルあるいはガーゼ地等の材料からなるマット本体11が、全体としてほぼ半円形の帯状に形成されている。このマット本体11は、トイレマット30と同様に、脚部23の前側の側面部23a下部に当接されるほぼ半円形状の切り込み部12が形成され、その内側の周縁部に当接部16が形成されている。この切り込み部12は、その入口の大きさ(A)が、例えば、20～22cm程度、奥行き(B)が、例えば、14～16cm程度であり、脚部23の前側の側面部23a下部に当接部16が密着する形状に形成されている。また、マット本体11は、その横側の帯幅(C)が、例えば、10～12cm程度、前側部分の帯幅(D)が、例えば、16～18cm程度で、やや前側に円形状に突出した突出部14に形成され、全体として上面から見たとき開口部22の周縁部22aより外側に十分な大きさに形成されている。さらに、マット本体11の突出部14の両側には、洋式トイレ20を男性が正立姿勢で使用するときに、足2の親指に対応する部分に凹部15、15を有する形状に形成されている。このマット本体11の外側の周縁部には、合成繊維材料からなるストレッチテープ等を両折りして包み込んで、例えば、幅が1cm程度になるよう縫い付けた、縁取り部13が形成されている。

【0014】このようなマット本体11は、図2に示すような形状に形成した2枚のタオル地を、まず、切り込み部12の部分に毛抜き合せ縫いを行った後に、1cm程度の縫い目17を施して当接部16を形成し、続いて、外側の周縁部にストレッチテープを両折りして包み込むよう縫い付けて縁取り部13を形成し、さらに、当接部16から縁取り部13へ向けて放射状に縫い目18を施すことにより製造することができる。

【0015】上記構成の補助マット10では、洋式トイレ20が設けられた床面1に敷かれたトイレマット30上に、切り込み部12の当接部16を脚部23の前側の側面部23a下部に密着させ、突出部14が手前側に位置するように配置する。このような状態では、補助マット10の縁取り部13が、上面から見たとき開口部22の周縁部22aより十分に外側に位置しているため、男性が立位姿勢で排尿時に、誤って尿を周囲に飛散させたりしてもマット本体11上に付着しトイレマット30を汚すことが少なくなる。また、補助マット10の当接部16が、毛抜き合せ縫いを行って1cm程度の縫い目17を施して、その部分が他の部分より比較的に厚手に形成されていることで、その当接部16を脚部23の前側の側面部23a下部に上側にやや曲折させた状態で密着させることができるため、周縁部22aに付着した尿が側面部23aを伝わって垂れ落ちて当接部16で吸収させトイレマット30や床面1を汚すことがない。補助マット10は、タオル地で全体として小さく形成されているため、多くの洗剤、水、電気代を必要とせず容易に洗濯できるため、トイレを常に衛生的な状態に保ち、利用者に不快感を与えることがなくなる。さらに、この補助マット10は、外側の周縁部に伸縮性を有するストレッチテープを両折りして包み込むよう縫い付けて縁取り部13を形成しているため、洗濯しても周縁部の伸びが少なく、足に当たっても気にならない。また、マット本体11は、当接部16から縁取り部13へ向けて放射状に縫い目19が施されているため、洗濯によるよじれ等を防止することができる。マット本体11の縁取り部13部分には、男性が正立姿勢で使用するときに足2の親指が接触したり、あるいは女性が使用するときに足の踵が接触したりしないよう凹部15、15が形成されているため、気になることがない。マット本体11は、タオルやガーゼ地等の材料で形成されているため、トイレマット30上に配置することで、位置ずれを防止することができる。さらに、マット本体11を白色のタオル地等を使用すれば、病人が使用したときに付着した尿の色により健康管理を行うことができる。

【0016】また、本発明の他の形態として、マット本体11の裏面にマジックテープの一方を貼り付け、トイレマット30の対応する部分にもマジックテープの他方を貼り付けるようにすれば、補助マット10をトイレマット30に安定して固定することができ、老人が使用した場合でも補助マット10が動いて危険になることがなくなる。また、マジックテープの代わりにドット釦を取付けるようにしてもよい。

【0017】なお、マット本体11の形状は、少なくともトイレマット30の上に配置され、洋式トイレ20の開口部22や脚部23の形状に応じて任意に形成することができ、実施形態の形状や寸法に限定されない。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように本発明の洋式トイレ用の補助マットは、上部の鉢部の下部に脚部を有する家庭用の洋式トイレが床面に設置され、この床面に敷かれたトイレマットの上部に配置され、全体としてはほぼ半円形の帯状に形成された尿を吸収する布地材からなるマット本体を有し、マット本体は、脚部の前側の側面部下部に当接され内側に当接部が設けられた半円形状の切り込み部を形成し、外側の周縁部が上面から見たとき鉢部の開口部より外側に十分に大きく形成されるとともにその周縁部に縁取り部が形成されたことで、簡単に使用できるとともに洗濯も容易になり、トイレを常に衛生的な状態に保ち、利用者に不快感を与えることがない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明実施形態の補助マットの使用状態を説明する斜視図である。

【図2】本発明実施形態の補助マットの平面図である。

【符号の説明】

1 床面

2 足

10 補助マット

11 マット本体

12 切り込み部

13 縁取り部

14 突出部

15 凹部

16 当接部

17 縫い目

18 縫い目

20 洋式トイレ

21 鉢部

22 開口部

22a 周縁部

23 脚部

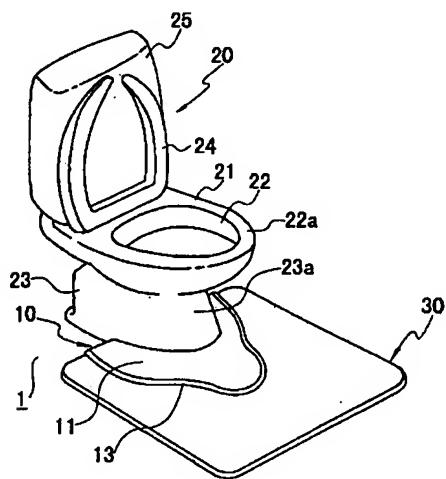
23a 側面部

24 便座

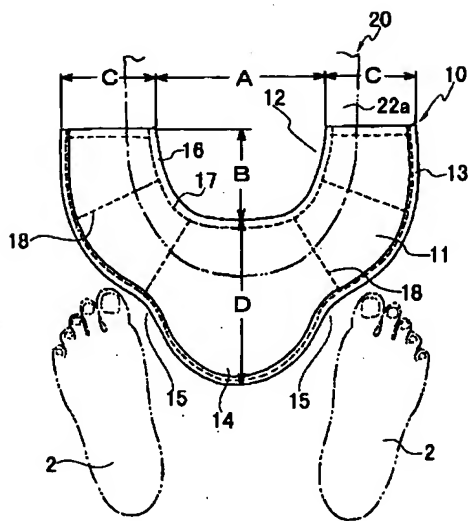
25 便蓋

30 トイレマット

【図1】



【図2】



(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2002336164 A**

(43) Date of publication of application: **26.11.02**

(51) Int. Cl.

A47K 17/02

(21) Application number: **2001086676**

(22) Date of filing: **26.03.01**

(30) Priority: **12.03.01 JP 2001068562**

(71) Applicant: **TSUJI HARUI**

(72) Inventor: **TSUJI HARUI**

(54) AUXILIARY MAT FOR TOILET

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an auxiliary mat for a toilet which can be simply used, is easily washed and always keeps the toilet hygienic and does not give an unpleasant feeling to a user.

SOLUTION: The toilet 20 for domestic use with a leg part 23 below the top pot part 21 is installed on a floor face 1 and is arranged on the toilet mat 30 laid down on this floor face 1 and has a mat main body 11 comprising a fabric material formed into an approximately semi-circular belt-like shape as the whole and absorbing urine and the mat main body 11 has a semi-circular cut part 12 which is brought into contact with the lower part of the side face part on the front side of the leg part 23 and is provided with a contact part 16 on the inside and when the peripheral edge part on the outside is seen from the top face, it is formed sufficiently larger to the outside than the opening part 22 of the pot part 21 and a fringed part 13 is formed on the peripheral edge part.

